

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	厚木精華園
指定管理者	社会福祉法人かながわ共同会
指定期間	H18.4.1 ~ H28.3.31
施設所管課	障害サービス課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

昨年度より僅かに利用者実績は下回ったが、利用者の高齢化による死亡退所や、地域移行による退所が増加しているためである。高齢化に対しては、今年度より制度化された「介護職員による喀痰吸引」に速やかに対応し、医療ケアの体制充実を図っている。制度変更や報酬加算の取得の努力により、収入も増加し、良好な管理運営状況といえる。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月10日	○	×	○	無	利用者の入退所状況について確認
5月	6月8日	6月8日	○	×	×	無	
6月	7月9日	7月9日	○	×	×	無	
7月	8月9日	8月9日	○	×	×	無	
8月	9月7日	9月7日	○	×	×	無	
9月	10月9日	10月9日	○	×	×	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	中高齢知的障害者に対する医療的ケアの充実	高齢化により、身体機能、嚥下機能の低下に伴い医療的ケアの必要な利用者が増加している。今年度より「介護職員による喀痰吸引」が制度化されたので、前年度はその準備を進めてきたが、転入職員などに医療的ケアを実施するための認定の研修を実施した。また、今までは、利用者が入所中に医療的ケアが必要になるケースだったが、今期は民立民営施設では対応の難しい医療的ケアの必要な利用者の受け入れを行った。さらに、高齢者支援セミナーの中で、厚木精華園が蓄積してきた医療的ケアのノウハウを積極的に他施設に発信した。今後についても、更なる医療的ケアの必要な利用者を受け入れるべく、支援体制、運営体制などの検討を進めたい。

	提案内容	実施状況
2	地域生活への移行の推進	<p>新規ケアホーム（ひのきホーム）を5月に開設し、新たに5名の利用者の地域移行を行った。現在は12ホームで定員50名で運営するようになっている。さらに地域移行を推進するために、定員の中に宿泊体験室を1室設け、上半期は延29名の利用があった。今後は高齢知的障害者の望ましい地域生活の検討を進めるとともに、老朽化した、バリアフリーではないケアホームの移転、設置の検討を進めたい。</p>
3		
4		
5		

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		—	—	—	—	—	—
予算額	前年度	249,509	456,003	21,935	727,447	727,447	0
	上半期	124,116	228,001	10,967	363,084	363,084	0
	下半期	125,393	228,002	10,968	364,363	364,363	0
	今年度	249,509	479,128	12,712	741,349	741,349	0
	上半期	124,116	239,564	6,356	370,036	370,036	0
	下半期	125,393	239,564	6,356	371,313	371,313	0
上半期実績額	4月	18,402	43,286	1,128	62,816	43,988	18,828
	5月	18,402	46,290	1,594	66,286	51,383	14,903
	6月	32,106	47,550	766	80,422	88,545	▲ 8,123
	7月	18,402	47,336	492	66,230	46,302	19,928
	8月	18,402	44,967	680	64,049	49,863	14,186
	9月	18,402	43,412	1,144	62,958	50,963	11,995
	今年度 上半期合計	124,116	272,841	5,804	402,761	331,044	71,717
	前年度 上半期合計	124,116	240,223	15,222	379,561	344,337	35,224
	対前年度上半期比				6.1%	▲ 3.9%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	備品等の経年劣化による備品購入・修繕費用として予備費に計上。
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	自立支援費収入の増加 ・加算算定要件の変更 ・新たな加算の請求 ・級地区分変更による支援費単価アップ
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：一円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	95 人	100 人	▲ 5.0 %
5月	95 人	100 人	▲ 5.0 %
6月	95 人	100 人	▲ 5.0 %
7月	97 人	100 人	▲ 3.0 %
8月	97 人	100 人	▲ 3.0 %
9月	99 人	97 人	2.1 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	600 人	578 人	597 人	▲ 3.7 %	▲ 3.2 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	地域移行促進と同時に亡くなられた方々による減員
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応	職員の支援、発言に対する匿名の苦情	事実の確認、事実であったものの注意喚起、人権研修の実施
	高齢での転倒が多いことへの苦情	園による事実の確認、対応策の検討と家族への周知を行う
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
4月11日	胃の内視鏡検査の際にスプーンが発見されるが、本人の様子からは把握できなかった。	親族、後見人に謝罪するとともに、所管課に連絡した。その後スプーンの摘出手術を行った。	食事は自力摂取しており、食事中に誤って飲み込んだものと思われる。今後は見守りを十分するとともに、スプーンなどの管理の徹底を図る。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

今年度の上半期は提案した取り組みはおおむね達成でき、安定した事業運営がなされたと考えている。利用者の平均年齢が上昇する傾向が続くが、それにより医療的ケアの必要な方も増加している状況の中で、職員の医療的ケアのスキルアップを積極的に取り組んできた。今後は医療的ケアの必要な利用者の支援がさらに適切に行われるように努力したい。

利用者の地域移行は積極的に取り組んできたが、現在施設入所中の方も、その可能性の検討を推し進め、地域生活実現を目指したい。

高齢が故の自己の体調の管理ができない利用者が多い中で、入院することも多く、また、今年もお亡くなりになる方も出ている。高齢の知的障害者が安心して、豊かな暮らしを実現するための取り組みを進めていきたいと考えている。